

要 覧



水産試験場本館



内水面支場



漁業無線局

 茨城県水産試験場

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/nourin/suishi/>

沿革

明治33年に磯浜町（現在の太洗町）に設置され、本県水産業に関する調査や指導業務、教育などを行ってきた。その後、組織の再編・統廃合、施設の移転等を経て、昭和44年に現在地に移り、昭和57年に栽培漁業センター（平成8年に栽培技術センターに改称）を設置、昭和59年に水産加工研究所を統合、平成6年に水産加工実験棟を設置、平成11年に漁業無線局を統合した。一方、内水面支場は、水産試験場の支場として大正9年に養魚場（土浦市）として開設、その後霞ヶ浦北浦水産事務所に編入されたが、昭和43年に内水面水産試験場として行方郡玉造町（現在の行方市）に設置された。

平成23年4月に水産試験場と内水面水産試験場が統合され、管理普及部、定着性資源部、回遊性資源部、水産物利用加工部の海面部門4部と漁業無線局および内水面支場の増養殖部、内水面資源部の6部1局体制となった。

組織概要

場長



計54名

施設概要

本場

敷地 9,847.6m²

建物 本館：鉄筋コンクリート2階建，延床面積1,371.04m²

水産加工実験棟

建物：鉄筋コンクリート2階建，延床面積552.4m²

主な施設・機器：調理室，原魚処理室，検査室，

栽培技術施設

主な施設：管理棟，飼育棟，飼育池

漁業調査船



いばらき丸

いばらき丸：179トン，平成15年3月31日竣工

主な装備：GPS電子海図，ハイブリッド航法装置，計量魚群探知機，超音波式潮流計，スキャンマー付トロール装置，海底地形解析装置，多段式開閉ネット，表層連続観測装置等



あさなぎ

あさなぎ：4.9トン，平成22年7月20日竣工

主な装備：レーダー，スキャンニングソナー，サテライトコンパス，カラー魚群探知機，DGPS航法装置，潮流計，ポールローラー等

漁業無線局

敷地：10,000m²

建物：鉄筋コンクリート造 平屋建て 延床面積398.4m²

内水面支場

敷地：43,244.3m² 建物面積2,805m²

主な建物：本館，魚病指導総合センター，種苗生産施設，養魚池，養殖試験用棧橋
調査船「おおとり（3.4トン，平成18年3月13日竣工）」

中期運営計画抜粋

水産業の振興と漁業経営安定にむけた5テーマを柱に、県民ニーズに応える研究を進めます。

- 海洋水産資源を持続的に活用するための研究と資源を回復させるための研究
- 回遊性資源を対象とする漁業の操業支援のための研究
- 内水面資源維持のための資源管理手法と魚類生態系や漁場環境保全のための研究
- 内水面水産資源の増殖と養殖業振興のための研究
- 産地販売力強化と美味しい魚を提供するための水産物利用加工研究

研究業務以外に、研究成果の還元・技術指導・漁業者活動の支援のための水産業改良普及指導業務および操業の安全確保・効率化のための漁業無線業務を行っています。また、人工衛星からの水温情報の提供や「漁海況速報」・「水産の窓」・「内水面かわら版」の発行等を行っています。

業務概要

管理普及部(経営普及室含む)

- 水産試験場全体の運営に関わる全般的な業務
(施設管理や経理など)
- 漁業調査船の維持管理、調査スケジュールの調整等
- 水産の窓や一般公開、沿岸資源談話会を通じた調査・研究に関する情報の発信
- 水産試験場や国の研究機関・大学等で開発された技術や情報を伝授し、漁業経営の改善をサポート
- 試験研究や行政施策へ反映させるため漁家の経営リサーチやニーズを調査
- 水産業の関係機関と連携して、次世代の「漁業生産の担い手」を育成



◎一般公開(移動水産試験場)



◎親子で学ぶ水産講座

定着性資源部

- 沿岸海域に生息する底魚類（ヒラメ・カレイ類等）の生態・資源に関する研究
- 砂浜海岸に生息する二枚貝（鹿島灘はまぐり・ホッキガイ等）の生態・資源に関する研究
- 岩礁域に生息するアワビ等の生態・資源に関する研究



◎資源評価調査、船上での魚体測定



◎海岸での調査と採取されたはまぐり稚貝

回遊性資源部

- 浮魚類（サバ・イワシ等）の資源評価・漁況予測情報の発信および資源生態に関する研究
- 船びき網対象種（シラス・コウナゴ・ツノナシオキアミ）の漁況予測情報の発信および漁況予測精度向上に関する研究
- 茨城県沖の海洋環境および海況予測精度向上に関する研究
- 県内各市場における水揚状況把握を目的とした漁獲情報システムの運用



◎市場調査による魚体測定（カタクチイワシ）



◎海洋観測調査（CTDによる水温・塩分測定）

水産物利用加工部

- 地魚の品質・鮮度に関する研究
- 食用として利用が低い地魚の食用加工による付加価値向上や高品質な加工品生産のための加工技術開発に関する研究
- 地魚の生食用凍結品の開発研究や地魚の旬に関する研究
- 県内水産加工業者等に対する水産加工実験棟の開放や新製品開発及び品質管理に関する支援・技術相談



◎水産加工実験棟



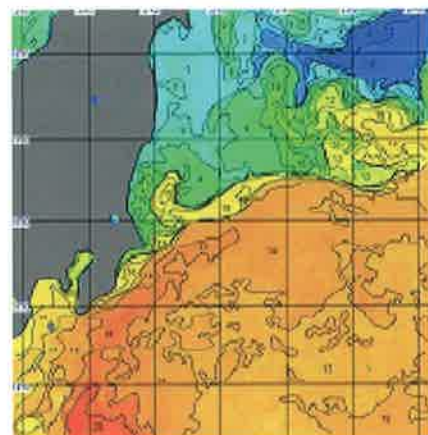
◎漁協女性部による水産加工実習

漁業無線局

- 無線通信業務
県内漁協所属の漁船，調査船，練習船との無線通信による各種情報（気象情報，船舶の安全に関する情報，操業に関する情報等）の送受信並びに公衆無線電報の取り扱い
- 水産試験場の試験研究広報業務
漁海況速報，人工衛星速報等の漁海況関連情報収集並びに発行，人工衛星により撮影された海水表層水温情報や植物性プランクトンの分布情報等のデータ解析及び画像作成，水産試験場ホームページへの各種情報掲載



◎無線通信卓（短波電信用）



◎NOAA衛星による海面水温画像

増養殖部(内水面支場)

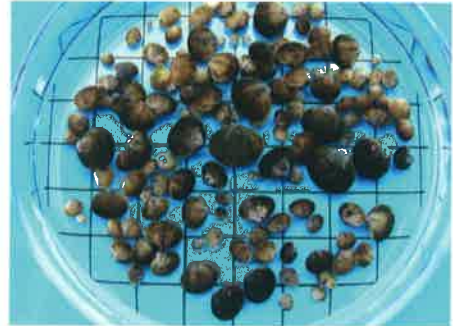
○霞ヶ浦・北浦の網いけす養殖技術に関する耐病性や高成長性のコイ種苗の作出技術，漁場環境に配慮した養殖技術に関する研究

○内水面の主要魚種であるヤマトシジミやワカサギ等の種苗生産技術や増殖技術の開発研究およびその普及指導

○コイヘルペスウイルス病や冷水病等の各種魚病に関する魚類防疫対策



◎網いけす養殖の棧橋



◎生産されたヤマトシジミ種苗

内水面資源部(内水面支場)

○内水面の主要魚種であるワカサギ，テナガエビ，アユ，シジミ等の資源動向やその維持および保全手法に関する研究

○水域の基礎生産量に関するプランクトン調査等による内水面の漁場環境の保全に関する研究

○水産有用資源に影響を及ぼすブルーギルやチャネルキャットフィッシュ等の外来魚の駆除・管理手法に関する研究



◎ヤマトシジミの浮遊幼生調査

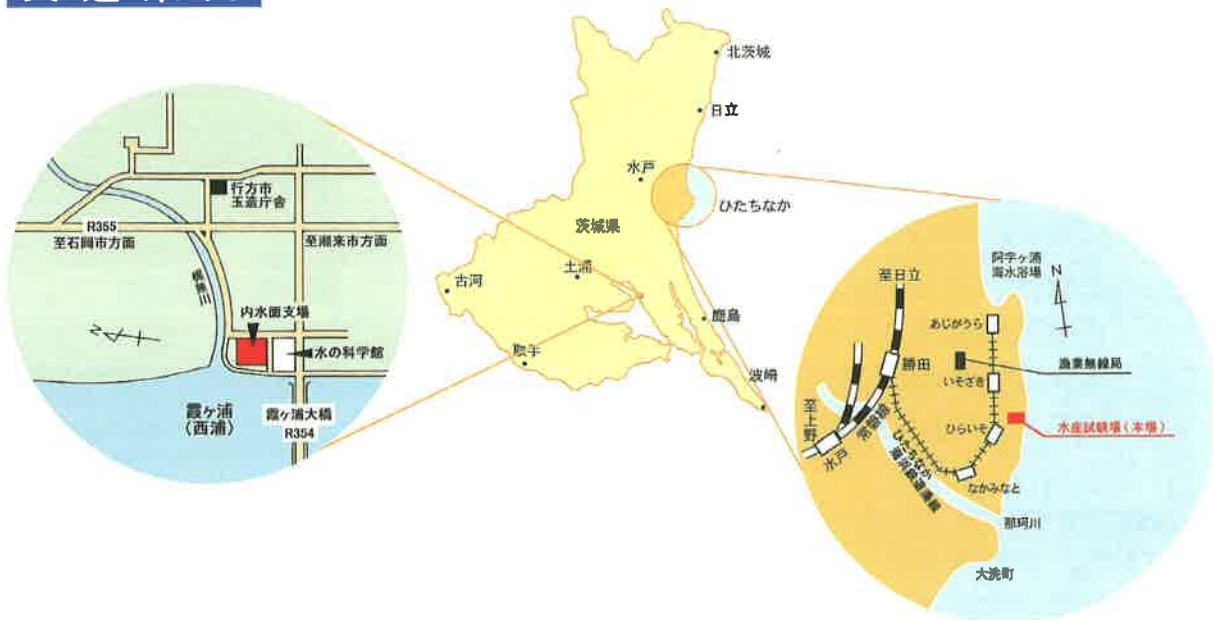


◎霞ヶ浦北浦での湖沼観測



◎久慈川における天然遡上アユ調査

交通案内



所在地 交通機関

本場

〒311-1203

茨城県ひたちなか市平磯町三ツ塚3551-8

電話 029-262-4158 FAX 029-263-2058

E-mail : suishi@pref.ibaraki.lg.jp

交通機関：JR常磐線水戸駅より茨城交通平磯行きバス 平磯中学校下下車

JR常磐線勝田駅よりひたちなか海浜鉄道湊線平磯駅下車 徒歩20分

漁業無線局

〒312-0005

茨城県ひたちなか市新光町51

電話 029-273-7911 FAX 029-270-1480

E-mail : jha@giga.ocn.ne.jp

交通機関：JR常磐線勝田駅より茨城交通海浜公園行きバス

市民球場入口下車 徒歩15分

内水面支場

〒311-3512

茨城県行方市玉造甲1560番地

電話 0299-55-0324 FAX 0299-55-1787

E-mail : suishiken2@pref.ibaraki.lg.jp

交通機関：JR常磐線石岡駅より関鉄グリーンバス（3番乗り場・鉾田行き）

玉造庁舎前下車，徒歩20分